

銘柄紹介

ミズホメディー [4595・100 株]

12月17日 JASDAQ スタンダード市場上場

2015年11月26日(木)

更新: 17時47分

株式会社フィスコ

体外診断薬を手掛ける小型案件

投資スタンスと初値メド

ブックビルディング参加	_____
初値投資	_____
初値メド	_____

市場の注目度	★★★
想定仮条件レンジ	960円～1000円
予想PER	11.0倍～11.4倍
予想トレーディングレンジ 期間: 上場後1年を想定	800円～2000円
予想PER	9.1倍～22.9倍

※★印は5段階評価

日程

仮条件提示	11月26日
ブックビルディング期間	11月30日～12月4日
公開価格決定	12月7日
申込期間	12月9日～12月14日
払込日	12月16日
上場日	12月17日

類似会社 3社

平均PER	59.5倍	→	5,204円
栄研化学<4549>	18.8倍(連)	→	1,644円
カインズ<4556>	9.6倍	→	840円
医学生物学<4557>	150.2倍(連)	→	13,136円

(PERは11月25日終値の会社側予想ベース)

体外診断用医薬品の開発・製造・販売を手掛ける。病院・開業医分野での現在の主力商品は、診断分野のなかでも最も市場規模が大きい免疫血清検査薬となっている。OTC・その他分野では、OTC検査薬として最も市場が拡大した妊娠検査薬を、厚生労働省の製造販売に関する許認可制度が開始された1992年より販売している。

今期は3割超の減益見通しとされており、業績懸念が上値を抑える要因となる。しかし、公開規模が非常に小さく、需給妙味に着目した投資家の関心を集めるだろう。また、予想配当利回りが想定公開価格ベースで2.7%と比較的高い点も株価の下支え要因となる。

公開規模については3億円強となる見込み。12/17はオープンドア<3926>が同時上場する予定だが、軽量感を重視する投資家の注目は集まりやすいだろう。



銘柄紹介

ミズホメディー [4595・100 株]

12月17日 JASDAQ スタンダード市場上場

2015年11月26日(木)

更新: 17時47分

株式会社フィスコ



新規公開株レポート

業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2011/12	2,869	—	65	—	10	—
2012/12	3,183	10.9%	194	195.6%	86	740.2%
2013/12	3,248	2.0%	194	0.0%	139	61.2%
2014/12	3,986	22.7%	459	136.1%	317	128.1%
2015/12 予	4,105	3.0%	310	-32.5%	204	-35.7%
2015/9 3Q	2,614	—	79	—	41	—
予想 EPS/配当	単独: 87.46 円(上場時発行済株式数で試算) / 27.00 円					

業績コメント

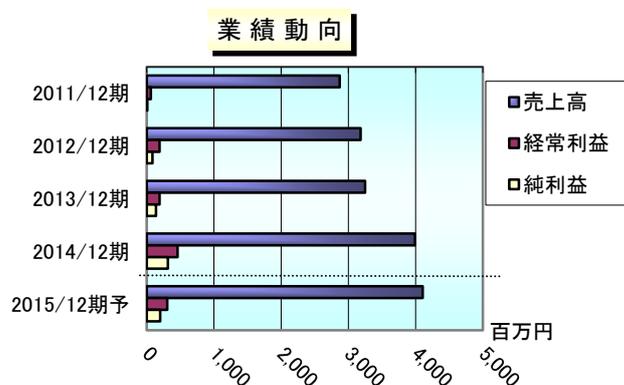
2015年12月期の業績は、売上高が前期比3.0%増の41.0億円、経常利益が同32.5%減の3.1億円と増収減益の見通しとなっている。

足元の体外診断用医薬品業界では、高齢化に伴う国の医療費抑制政策を背景に、同業他社との競争も激化している。排卵日検査薬や便潜血検査薬が一般用検査薬として許認可を取得できるまでの間は、既存参入企業間におけるシェア競争など厳しい状況が続くものとみられる。

このような状況のなか、同社の展開する病院・開業医分野においては、インフルエンザの流行が例年より3週間ほど早く始まり1月にピークを迎えたことから、市場においてインフルエンザ検査薬が品薄状態となった。同社は、生産計画を組み替えるなど迅速かつ柔軟にこの状況に対応し、製品の供給を継続できたことから、同検査薬の売上高が急伸し、病院・開業医分野全体の売上高は堅調に推移した。OTC・その他分野においては、妊娠検査薬の売上高は

堅調に推移したものの、排卵日検査薬は一部の代理店への売上高が減少したため、OTC・その他部門全体の売上高は減少した。一方、費用面については、棚卸資産廃棄損の計上のほか、業容拡大に向けた人員増等に伴う人件費及び新製品や製品改良のための研究開発費の計上等により増加する見込み。

なお、通期計画に対する第3四半期末時点における進捗率は、売上高26.1億円で63.7%、経常利益0.7億円で25.5%となっている。



銘柄紹介

ミズホメディー [4595・100 株]

12月17日 JASDAQ スタンダード市場上場

2015年11月26日(木)
更新: 17時47分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

基本概要

所在地	佐賀県鳥栖市藤木町
代表者名(生年月日)	代表取締役社長 唐川 文成(昭和20年3月12日生)
設立	昭和52年11月2日
資本金	3億2975万円(平成27年11月12日現在)
従業員数	137人(平成27年10月31日現在)
発行済株式数(上場時)	2,332,500株(予定)
公開株式数	公募217,500株 売出108,500株 (オーバーアロットメントによる売出48,900株)
想定公開規模	3.6億円~3.7億円(OA含む)
事業内容	体外診断用医薬品の開発・製造・販売

売上高構成比率 (2014/12期実績)

品目	金額	比率
病院・開業医分野	3,408 百万円	85.5 %
OTC・その他分野	578 百万円	14.5 %
合計	3,986 百万円	100.0 %

幹事証券団 (予定)

	証券会社名	引受株数	引受シェア
主幹事証券	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	未定	未定
幹事証券	岡三証券(株)	未定	未定
幹事証券	大和証券(株)	未定	未定
幹事証券	西日本シティIT証券(株)	未定	未定
幹事証券	マネックス証券(株)	未定	未定

銘柄紹介

ミズホメディー [4595・100 株] 12月17日 JASDAQ スタンダード市場上場

2015年11月26日(木)
更新: 17時47分
株式会社フィスコ

大株主上位 10 位			
順位	株主名	保有株数	保有シェア
1	唐川 文成	848,670 株	40.13 %
2	ミズホメディー社員持株会	277,610 株	13.13 %
3	唐川 則康	194,965 株	9.22 %
4	山里 將浩	120,255 株	5.69 %
5	株式会社西日本シティ銀行	100,000 株	4.73 %
6	國分 幸一	77,500 株	3.66 %
7	渡辺 亀四郎	66,000 株	3.12 %
8	山口 和也	57,500 株	2.72 %
9	立石 貞則	48,000 株	2.27 %
10	李 春億	46,000 株	2.17 %
合計		1,836,500 株	86.84 %

その他情報		
手取金の使途	全額を設備資金とし、現在開発中の遺伝子検査システムの生産設備の一部及び本社敷地内に建設予定の新規製造工場の建設費に充当する予定	
関係会社	株式会社 AMBiS (関連会社) 抗体の開発・生産	
VC 売却可能分(推定)	1 社 5000 株(売出し・保有期間などの制限があるもの以外)	
直近有償第三者割当	年月日	1990 年 12 月 19 日
	割当先	不明
	発行価格	1300 円 ※株式分割を考慮済み



銘柄紹介

同社は、主に体外診断用医薬品に関して、特許権利取得を視野に独自の研究開発もしくは産学官共同研究を実施し、事業活動を行っている。

病院・開業医分野では、国内外の医療機関向けに患者の健康状態、疾患の有無、治療の経過等を診断するための生化学検査薬、免疫血清検査薬を製造販売している。また、製薬メーカーと共同開発した免疫血清検査薬等については、当該製薬メーカーを通じて販売している。

OTC・その他分野では、主に一般消費者の自己検査として厚生労働省の認可を得ている一般用医薬品を薬局・薬店へ販売している。

その他には、農作物の苗木などのウイルス病を見つけるため、免疫血清検査薬の技術を応用した果樹ウイルス検査薬を農業試験場等へ販売している。

【主な製品】

(1) 病院・開業医分野

医療機関において使用されている体外診断用医薬品は、初診時、入院時のスクリーニング検査、疾患の確定診断、モニタリング、健康診断、院内感染防御などに用いられており、大学や大病院の検査室、検査センターにおいて多量の検体が検査されている。体外診断用医薬品は、診断分野の面から生化学検査薬、免疫血清検査薬、尿糞便検査薬、微生物検査薬、血液検査薬や病理検査薬などその他の検査薬に分類される。

同社の主力商品は、設立時は生化学検査薬だったが、現在は、診断分野の中でも最も市場規模が大きい免疫血清検査薬となっている。免疫血清検査薬のなかでも、インフルエンザウイルスやアデノウイルス

など感染症の検査薬は、中小病院や開業医を中心として市場は拡大しており、迅速で簡易な検査技術であるイムノクロマト法を用いた多くの製品を販売している。

(2) OTC・その他分野

一般用医薬品として薬局・薬店で販売されている OTC 検査薬は、ドラッグストアでの販売が始まった 2003 年頃から市場規模が拡大し、特に妊娠検査薬は妊娠の早期判定の補助として広く普及している。同社は、OTC 検査薬として最も市場が拡大した妊娠検査薬を、厚生労働省の製造販売に関する許認可制度が開始された 1992 年より販売しており、続けて開発した排卵日検査薬とともに、少子化対策を要する昨今の社会に貢献する製品を製造し、全国の薬局・薬店を通して消費者へ供給している。

(2A) 一般用医薬品

同社は、1992 年に一般用医薬品としての販売が解禁されると同時に妊娠検査薬の製造を開始し、製薬メーカーを通じて全国の薬局・薬店への販売を開始した。その後、1997 年に、同社から直接全国の薬局・薬店への販売を開始した。現在では、妊娠検査薬「P-チェック・S」を自社ブランド製品として販売するとともに、チェーン展開を行うドラッグストアのプライベートブランド製品としても「S-チェッカー」や「プレセルフ」などの製品名で販売している。

(2B) 薬局における排卵日検査薬

少子化が社会問題とされるなか、大きく社会貢献する検査薬として、妊娠しやすい時期を的確に予知できる排卵日検査薬「P-チェック・LH」を薬局を通して販売している。

ミズホメディー [4595・100 株]

12月17日 JASDAQ スタンダード市場上場

2015年11月26日(木)
更新: 17時47分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

投資のポイント

今期は3割超の減益見通しとされており、業績懸念が上値を抑える要因となる。しかし、公開規模が非常に小さく、需給妙味に着目した投資家の関心を集めるだろう。今年7月上場の平山<7781>以来となるジャスダック上場案件だが、今年のジャスダック上場案件9社の公開価格に対する初値上昇率は平均126.7%と好調が続いている。これは公開規模10億円未満の小型案件が大半であったことが影響しているとみられる。予想配当利回りが想定公開価格ベースで2.7%と比較的高い点も株価の下支え要因となるだろう。

込み。少数株主がやや多いものの、ベンチャーキャピタル保有株はほとんどなく、株主構成上も需給良好と言える。12/17はオープンドア<3926>が同時上場する予定で、インバウンド関連として一定の関心を集めるだろう。ただ、軽量感を重視する投資家の注目は集まりやすいだろう。

同社は、体外診断用医薬品の開発・製造・販売を手掛けている。病院・開業医分野での現在の主力商品は、診断分野のなかでも最も市場規模が大きい免疫血清検査薬となっている。B型肝炎検出用キットを製品化するなど、感染症分野での開発に継続して取り組んでいる。OTC・その他分野では、OTC検査薬として最も市場が拡大した妊娠検査薬を、厚生労働省の製造販売に関する許認可制度が開始された1992年より販売している。

業績面について、2015年12月期は売上高が前期比3.0%増の41.0億円、経常利益が同32.5%減の3.1億円と増収減益の見通しとなっている。棚卸資産廃棄損の計上に加え、業容拡大に向けた人員増等に伴う人件費の増加、新製品や製品改良のための研究開発費の増加を見込んでいる。想定仮条件水準の今期予想PERは11倍程度で割高感はない。

公開規模については3億円強となる見

銘柄紹介

ミズホメディー [4595・100 株]

12月17日 JASDAQ スタンダード市場上場

2015年11月26日(木)

更新: 17時47分

株式会社フィスコ



新規公開株レポート

投資スタンスの見方

Aggressive (アグレッシブ)	積極的参加	投資収益率 100%以上が見込まれる案件
Active (アクティブ)	やや積極的参加	投資収益率 50%以上が見込まれる案件
Passive+ (パッシブ・プラス)	やや消極的参加	投資収益率 20~50%未満が見込まれる案件
Passive- (パッシブ・マイナス)	消極的参加	投資収益率 0~20%未満であり、マイナスの可能性のある案件
Negative (ネガティブ)	参加見送り	投資収益率がマイナスになる可能性が予想される案件

《 重要事項(ディスクレマー) 》

株式会社フィスコ(以下[フィスコ]という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

掲載される情報はフィスコが信頼できると判断した情報源をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、フィスコは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものではありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

フィスコが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少する事もあり、価値を失う場合があります。

本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大する事を保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

フィスコおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ



■ 本資料のご留意事項

本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料は、SBI証券が、株式会社フィスコが信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。本資料の著作権、知的所有権等一切の権利は株式会社フィスコに帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

■ 手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券 WEB サイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

■ 国内株式取引のリスク情報について

・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

■ 留意点

・SBI証券が保有する株式等や主幹事担当会社の重要な開示事項（利益相反関係等）についてはSBI証券WEBサイト（http://search.sbisec.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kaiji.html）をご確認ください。または、カスタマーサービスセンター（0120-104-214（携帯電話・PHSからは03-5562-7530））までお問い合わせください。
・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の支店までお問い合わせください。
・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書は当該銘柄の取扱証券会社のホームページ等で入手いただけます。

商号等： 株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号： 関東財務局長（金商）第44号
加入協会： 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会